

宇佐市民図書館 2003.12

郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679
<http://www.usa-public-library.jp/>



| 目次 |
|-------------------------------|
| ◆ 今月の表紙・麻生豊著『只野凡児・人生勉強』表紙(昭9) |
| ◆ 麻生豊「口上」より(1) |
| ◆ 龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(19) |
| ◆ 新着郷土資料目録・平成十五(二〇〇三)年[11月] |

4 2 1 1

今月の表紙 麻生豊の長編漫画『只野凡児』(全3巻のうち)の第1巻「人生勉強」。
 昭和9年2月3日発行。新潮社。箱入り。18×19cm。121ページ。

口上 (1)

麻生豊

長編漫画にペンを執る事二回。第一回はノンキナトウサンであったが、その中途私はもう二度と、こんな気苦勞な仕事はしたくないと幾度か思った。それが又朝日新聞紙上に凡児君を活躍させる事になって再び重からぬ体重を一貫目も減らしてしまった。併し漫画を志す以上本懐これに過ぎるものはない。何故なら凡児は社会のあらゆる場所へ現れ、見、聴き、話すから。私のペンは様々な角度に屈折して彼を追いかける。描き足りない時があっても私は満足だ、ヨシ今度は、と次の機会をねらって凡児のあとをつける。この総合された漫画の世界、それに張り切った気持ちはいつの間にか気苦勞なんかフツ飛ばして私を朗らかにして呉れる。

『只野凡児・人生勉強』(新潮社)
 昭和九年二月発行

龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (19)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。
収録人名一覧は、No.7(2000.10)~No.14(2002.5)に連載しました。

いちま

いちまんだ・かねざね
一万田鑑実

薙髪して宗慶と号す。大野郡一萬田村小牟礼城に居つ。鳥屋山上は其支堡である。大友家乗によれば能直の第六子兵衛尉時景景というもの一萬田邑を領し世に此所に居り氏とすとある。
(豊後国志)

いっばくこう 一伯公

徳川家康の孫で秀康の長男忠直津守一伯公の号を以て称せらる。元和元年大友萩原に流罪され、慶安三年、年五十六で大分で歿した。
(徳川忠直参照)

いっぺい 一平

告している。

を贈った。村内各人金品を贈る山の如く、三十八年には知事より賞状金□を送って来た。母歿後は家運も漸く換回したが大正四年四十六歳で歿した。
(郷資料)

いとう・まんしよ 伊東満所

義賢・義賢
伊東入道義祐
祐青・満所祐益

義賢と満所は或は同人ならん。使節四人中主賓として遇せらる(実ハ千々岩清右衛門三十八と正使中浦ジュリアン原マルチは副使)時に伊東義祐も天正六年島津に敗れ、臼杵城に来ていた。満所も両親と臼杵に来て洋学校に学び、更に有馬の洋学校に転じ、学んでいた。有馬洋学校々々長天正十年二月満所の成績を報じ、使節として大命を呈すべきを報

川筋一平と称し、法鏡寺村に生

れ、四日市宇佐間侠客を以て任じ、往来の人を困まらした。但し性寡慾で財を持たず、妻子を有たず強きを挫き弱きを助けた。唯其行為乱暴な所があつたが、一面人に愛せられていた。阿野勇平の孝行談を聞き、茶屋に連れこみ食べ飲みと食わせ飲ませたが、茶屋には一文も払わぬといった風であつた。明治六年六十一歳で歿した。

いっぺん 一遍

本姓越智予州豪族阿野通広の子。幼にして志仏乘にあり、詰州巡遊し念仏を勧む。道俗響附す。建治二年秋豊府に遊化し、鶴見神社に詣で樟樹に阿弥陀を刻し、鉄輪温泉の側に置く。松寿庵を創む。正応二年長遊す。五十一歳。

(善鳴録)

いでた・あらた 出田 新

教育者。(財団法人帆足記念図書館理事。元山口県立小郡農業学校長。農学士。著書に日本植物病理学ほか。)※カツコ内は綴資料より。

(お)いこのこうじよ お糸孝女

明治三年大野郡重岡村の農家に生まる。九歳で母を喪い、やがて父を失い、少女の手で二人弟を養い、十七歳、或る農家に嫁し、貧家の中に病める姑の看病に一日も怠らず、飲食の両便まで家人に委ねたことはない。□を□り、身体を拭い、病母の意のままに孝養を尽した。性急な母で励声を発することもあるが、□寄和色を以て接した。そこで、重岡村会は三十三年表彰を議決して、一封

五六年間有馬や天草にあり、慶長十七年七月二十一日四十三歳で天草で歿した。
(県史要)

いとう・ぎげん 伊東義賢

天正十年大友宗麟は宣教師ワニリヤンの勧めにより肥前の大村純忠及有馬晴信と共に羅馬法王の許に使者を派遣した。其使節は宗麟の甥に当る。前日向飯肥の城主伊東義益の嫡男義賢で時に十三の少年であつた。使者一行はワニリヤンに伴われて天正十年の正月二十七日(一五八二・二・二〇)長崎を出帆して萬里の鵬程に上つた。然し宗麟は帰朝を待たず同十五年五月、二十三日五十八歳で歿した。

いとう・きょうか 伊藤鏡河

(一七五二~一八二九)

儒者。岡城の人。名幸猛。通称文蔵。作内左衛門と改む。字寛叔。鏡河は号。別に環翠園、鏡湖の号もある。田近氏より出て、九歳、伊藤家を嗣ぐ。徂徠の学を奉じ、刀槍を好み、剣法に長ず。安永五年藩中川久貞国学館を創設するや擢てられ、督学となる。時年二十五。常に大河原湛楽、室何遠、森迫高と交遊し、好んで兵を談す。天明四年召されて江戸邸に至り浄安香橋二公子儒となり、啓沃の任を尽し、香橋(久持)嗣ぐや、近侍頭となり、学館司業に遷る。久教嗣ぐや再び近侍長となる。是より先き唐橋世濟豊後志撰して成らず。鏡河命を以て田能村竹田と其業を完成し、更に古田含章と中川家年譜を撰す。寛政十二年高山彦九郎来つて其家に寓すと文政十二年歿す。享年七十八。
其子輔世(樵溪)職秩を襲ぎ、学館司業となる。

新着郷土資料目録 平成15(2003)年【11月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

- 八幡宮寺成立の研究/遼日出典/続群書類従完成会/2003/A175ツ/(購入)
 西馬城 やじうま郷土誌/幡手文司/宇佐:幡手文司/2002/A214ハ/(寄贈)
 小さな旅 国東物語/通正知秀/諏訪:鳥影社/2003/291.9ツ/(購入)
 福澤諭吉著作集 第1巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2002/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第2巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2002/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第5巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2002/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第6巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2003/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第7巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2003/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第9巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2003/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第10巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2003/A3097/(購入)
 福澤諭吉著作集 第12巻/福澤諭吉/慶応義塾大学出版会/2003/A3097/(購入)
 大分銀行百十年史/大分銀行百十年史編集委員会/大分銀行/2003.8/A338オ/(寄贈)
 大分の名水50選 九州十色シリーズ/藤内隆
 /おおいたインフォメーションハウス/2003/A452ト/(購入)
 四日市別院山門保存修理工事報告書/夢和詩生一級建築事務所
 /真宗大谷派 日豊地区・四日市別院/2002/A521ヨ/(寄贈)
 建築士大分 2003.9 No.88/大分県建築士会/2003/A521オ/(寄贈)
 BUNGO食べ歩きBOOK/おおいたインフォメーションハウス/2003/A673オ/(購入)
 富貴寺悲愁/河津武俊/弦書房/A913カ/(寄贈)
 思索 昭和21年7月号(横光利一「夏臘日記」掲載)/京都:青磁社/1946/A905Y46/(購入)
 新潮 昭和23年1月号(「逝ける横光利一」掲載)/新潮社/1948/A905Y48/(寄贈)
 中央公論 昭和7年1月号(横光利一「舞踏場」掲載)/中央公論社/1932/A905Y32/(購入)
 中央公論 昭和13年1月号(横光利一「由良之助」掲載)/中央公論社/1938/A905Y38/(購入)

【マイクロ資料】

- 中津新聞マイクロフィルム 昭和5年2月/中津新聞
 中津新聞マイクロフィルム 昭和6年8月/中津新聞
 中津新聞マイクロフィルム 昭和6年10月/中津新聞
 中津新聞マイクロフィルム 昭和6年11月~12月/中津新聞
 中津新聞マイクロフィルム 昭和7年1月~2月/中津新聞
 中津新聞マイクロフィルム 昭和7年3月~4月/中津新聞
 中津新聞マイクロフィルム 昭和7年5月~6月/中津新聞
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和25年1月~4月/大分合同新聞社
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和25年5月~8月/大分合同新聞社
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和25年9月~12月/大分合同新聞社